

チェックシート
立平葺及び蟻掛葺
同カバールーフ
中間検査

責任施工業者				
工事名				
区分	チェックポイント	良	否	改善方法
材 料	溝板の厚さは、0.35mm以上で且つ仕様書通りの厚さが使用されているか。			
	吊子の板厚は、溝板と同等以上が使用されているか。			
	吊子の長さは、50mm以上あるか。			
	中間吊子の長さは60mm以上か。力心は、直径4mmの垂鉛メッキ鋼線となっているか。			
	下葺材は、アスファルトルーフィング940以上が使用されているか。			
墨出し	割付け、墨出しは施工図通りであるか。			
下地の状態及び下葺き	断熱材の使用は指定してあるか。使用の場合、同等又は同等以上の品質であるか。			
	下葺材の重ねは、100mm以上で横貼りとなっているか。又、縦貼りの場合は、200mm以上となっているか。			
シーリング材	ハゼにテープの貼付又はコーキングがされているか。			
吊り子	吊り子の取付間隔は、250mm以内となっているか。			
	固定釘は、有効打ち込み長さ45mm以上のものを使用して、1個の吊り子に1又は2本で止められているか。			
唐 草 けらば納め	唐草、けらばを釘止めとする場合、釘の長さは32mm以上を使用、500mm以内の間隔で取り付けられているか。			
	継ぎ目重ねは、30mm以上となっているか。			
	垂れ下がりは、野地板より10mm以上下がっているか。			
谷 納 め	捨て板は100mm以上あるか。			
	掴み込み部分に、シーリング材を充填してあるか。			
水上端部	立上がり部分は、八千代折りを基準とし、水返しを付けてあるか。			
適用				

検査日	年 月 日	再検査日	年 月 日
-----	-------	------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局	検査員氏名
				検査員資格番号

チェックシート
立平葺及び蟻掛葺
同カバールーフ
完 成 検 査

責任施工業者			
工 事 名			
区 分	チェックポイント	良	否 改善方法
棟 納 め	棟包みは、棟板に32mm以上の釘を500mm間隔以内で止めてあるか。(防水テープでも可)		
	棟包みは、ハゼ組とする方法で施工してあるか。		
	棟包みの垂れ下がり部分は、溝板まで下げてあるか。		
水 上 部 分 及 び 登 り の 雨 押 え	雨押え立上りは120mm以上で、ハゼ組か又は、垂れ下がり部分を溝板まで下げてあるか。		
	水上部分の立上りは、ハゼを倒して120mm以上の立上りとし、水返しを付けてあるか。(防水テープでも可)		
	棟納めに準じて止めてあるか。		
シ ー リ ン グ	各部分の必要な箇所へのシールは出来ているか。		
そ の 他	屋根材の表面に傷はないか。又、タッチアップ等の補修がされているか。		
	屋根の上や関係する場所の清掃が行われているか。		
適 用			

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------	---------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局	検 査 員 氏 名
				検査員資格番号